

人を育み 未来につなぐ あしやまち

新年あけましておめでとうございませす。皆さまにおかれましては、令和5年の新春を健やかに迎えられましたことを、心からおよろこび申し上げます。

さて、昨年も引き続き皆さまには新型コロナウイルス感染症の感染対策の徹底をお願いし、ご理解とご協力を賜り、深く感謝申し上げます。

長期化するコロナ禍や物価の高騰に対応するため、生活応援商品券の給付や子育て世帯及び高齢者生活応援給付金の給付、電気料や上下水道料の支援など、さまざまな独自支援策に取り組んできました。一方で、^{ウィズ}コロナに向け、社会・経済活動の正常化を進める中で、3年ぶりに花火大会やあしや砂像展などのイベントを再開することができました。皆さまや多くの来訪者に喜んでいただくと同時に、より一層の賑わいが生まれたことをうれしく感じています。

しかしながら、まだまだ終息には至っておりません。今後も、気を緩めることなく、社会動向を注視し、皆さまが安全に生活できるようスピード感をもって取り組んでまいります。

現在、芦屋町は、「第6次総合振興計画」に基づきまちづくりを進めています。

昨年は台風14号が町を直撃しましたが、その際、各家庭に配布した戸別受信機を活用し、迅速で正確な情報を伝達できたことや、日頃の避難・防災訓練の成果を生かし、皆さまの安全を守ることができたことは評価できるものであったと考えています。

また、小中学校の給食費を半額にし、高校生世代の医療費の無償化を実現することで、子育て支援の充実にも取り組みました。

さらに、「にこにこ商品券」のプレミアム率の拡充に対し支援を行うなど、皆さまの生活に寄り添った町政運営にも努めてきました。

魅力ある「海」を生かしたまちづくりにも取り組んでおり、令和7年度の芦屋港のレジャー港化に向け、管理者である福岡県と連携しながら事業を進めています。芦屋釜の振興は、オンリーワンの地域資源である国指定重要文化財「芦屋あられしんがま霰地真形釜」を、令和6年度に故郷芦屋町に展示できるよう施設の整備を進



めています。

どちらも町の魅力を高め、さらなる町の発展につながる事業です。本年はその土台固めのため、一步一步着実に準備を進めていきたいと考えています。

また、ポートレース事業では、令和3年度決算では10億7千万円を一般会計へ繰り出すなど、町財政に寄与しています。5月にはSG第50回ポートレースオール

スターの開催も決定しており、本年も町への貢献が大きく期待されています。

芦屋町の発展のため、町の歴史・文化、地域資源をこれからも守り育て未来につながるよう、町民の皆さまの意見を賜りながら、引き続き取り組んでまいります。

結びに、本年が皆さまにとって、明るく笑顔に満ちた幸多い年でありますことを祈念し、新年のあいさついたします。



芦屋釜の里